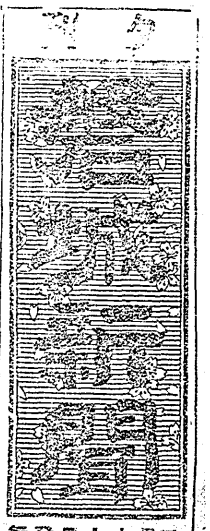
〔第三種郵便物認可〕　昭和八年二月十八日　磐城新聞　〔土曜日〕　第三千六百五十三號　〔一〕



二月十七日發行
定價一ヶ月金五拾錢（日曜祭日休刊）
磐城新聞社
發行所　福島縣磐城平町　電話五四番
發行人　佐伯重次郎
編輯人　佐伯重次郎
印刷人　佐伯重次郎
印刷所　磐城新聞社印刷部
福島縣磐城平町　電話五四番

マーケツト・オペレーションは今後の景氣にどう影響するか

經濟學士　佐伯重次郎

帝國銀行は屢々マーケツト・オペレーションを行つてゐるが今後とも日銀が同樣の通貨調節策を取るとすればその効果は如何であるか。卽ち今後の景氣動向に與ふる影響はどうかの二點に就いて述べて見よう。

◇

第一に今後日銀が同樣のマーケツト・オペレーションを取るにしても、その直接効果は大してない。今次の株式急落を日銀のマーケツト・オペレーションの効果とするが如き見方からすれば、今後とも相當の効果があるべきだが、然し今次の株式急落にしても、眞實はマーケツト・オペレーションの効果に非ずとすれば今後ともその効果は大して期待するに當らぬ。ただ公社債市場に取つては今後の發行公債を日銀手持にするか市場公募とするかは、市場に大きな影響を與へるから、之を喰ひ止め得まい。むしろ今後の日銀の通貨調節策は、之を行へば行ふ程今後の景氣動向に對する影響は決つてゐる、と云ふ評判は眞乎暴れ方では枝葉末節に過ぎない。斯の如き對策は今後インフレ景氣を確實にし、且つ强化するものと云へる。蓋し金融關係の諸對策を以つてそれより更に根本的な生産關係の動きを抑へ得るものに非らず、更らに通貨調節そのもの自體さへも現在の財政情勢を以つては困難いからである。

◇

從つて今後の日銀通貨調節策は、公社債市場以外に對しては、之が影響を現在一般に考へてゐるより餘程輕く見て置いて差支ないものと思ふ。

◇

これを要するに現在昂進しつゝあるインフレーションは、之が破壞的作用を與並に株式の各市價を奔騰するは當らない。今後のインフレーションが破壞的にまで激化せず、適宜に調節されるものとすれば、物價騰貴を目先的に調節せんとする人爲策との矛盾に認識せねばならぬも昂進するであらう。現在の客觀的實勢と之を以つてしは、そのインフレーション化を防止し得る情勢に在ろ。（完）

磐新歌壇

小山田滋選

青山貞三

○はく息も凍てつく夕べ店先に主人待つ馬のつゝましきかな

○この家に移り來たりていまにして味噌を造らんと豆つくを見る

小鍬倉之助

○朝々を日々短歌さへ讀めずなりぬ我がなりはひの忙しきかな

磯上六花

○雨やみし濱邊の砂を踏みゆけば濡れ光りゐて朝のひそけさ

○葉の落ちて一本寒き桐の木に時雨のそゝぐ夕なりけり

潮聲初句會

於木兎莊

節のよき納豆賣を呼びにけり　竹羊

納豆や方丈まゐる般若湯　文狂

孝行の評判ものや納豆賣　香雨

納豆の苞うすらかに凍りけり　北窓

軟かき糸ひく納豆買當てぬ　曉雹

寄宿舍に大苞納豆買ひにけり　芳月

納豆にはのめく苞の香りかな　城月

苞ぐれば　味少なき納豆かな

納豆籠かろ々々負ふて朝の町

犬吠ゆ　賣る子の遂巡す

山家の春

市川健次

江戸前

當店に於て自慢の
大蒲燒
割烹開業以來
壽司

特に「都壽司」は江戸一流の職人を迎へて食通の皆樣方に御賞讃を頂きお蔭樣にて大繁昌をいたして居ります。

都壽司は魚榮と御思召して……

御ひろき下さる樣御願申上げます。

田町　魚榮　電話四二四番

貸切ノ御用命ハ

イツテモ眞先ニ（松崎ニ）

三九ニタクシーへ

（デンワ、ミクニ）

市原醫院

內科。小兒科
外科一般。婦人科
外科。梅毒。淋疾
皮膚病　市原卯太郎
　　市原陸郎
平町田町本通　市原三三男

（入院隨意）　電話一一四番

泌尿器科醫院

（平町南町電一〇七番）

吉田眼科病院

紅と紅茶代用品

出現

何處の御家庭でも熱湯さいあれば卽席に出來ます尙一分間炊けば一階風味良く出來ます。在來の晒あんとは全々違ひ日向臭く有りません。小豆天賦の風味芳香と榮養分完全に保有されてあります。年末年始の贈答品には好適當です。

一袋正量三七五瓦入（約半人分）金三十錢

贈答品函入　金一圓

製造發賣元　日進堂

（特約販賣店募集）　平町田町　電一八六

耳、鼻、咽喉科、氣管支、肺病科專門

平町南町　（電一〇七番）

大和田醫院

大和田都司

（自炊の便あり）

日

設新機

十

檢查

體溫計の檢查日です

お宅の體溫計は？

正確な體溫計を御利用下さい……

每月十日の檢查日を御利用下さい

度量計計量器指定販賣所

西村屋藥局

電三番

屋根材の大王（日の出太陽印）便利瓦

耐久力優ニ二十ヶ年以上

壹坪貳圓上　八十錢內外

日本建築紙工株式會社

磐城代理店

銘ニヤ板
天井板
屋根板
內外木材

織田材木商店

平町字紺屋町四〇
電話四六〇番

精實勉强御用命を願ひ上ます。

共濟病院案內

磐城　院長　醫學博士　石山謙郎　（自宅）電話一二四番

內科（醫學博士　石山謙郎）
小兒科（醫局員　佐久間粹）
外科耳鼻咽喉科（醫學博士　桂重次）
皮膚科（醫學士　有馬勇二郎）
產婦人科（醫學士五十嵐雄二）
X光線科（醫局員　佐久間粹）
技師（醫學博士　石山謙郎）
工藤慶造
衛生試驗所（醫學博士　石山謙郎）
技師　高後利雄
藥局（藥劑士　吉本孝平）

△診療時刻　午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず

平町　磐城共濟會　電話六四一番

耳鼻咽喉科專門

平町田町七〇番地

山內醫院

入院隨意
病室完備

醫學士　山內亨吉

電話六九一番

內外
建築材
建具材

入阿部材木店

磐城國平町（公園下）
電話四九四番

拓華徽笑

平町の稅務內示會で學務問題意見內示會

◇

三十代議士の肚もドドの詰まり

人爲的に右の過度インフレを阻止せんとするも激化せず、適宜に調節されるものとすれば、物價騰貴を目先的に調節せんとする人爲策との矛盾に認識せねばならぬも昂進するであらう。現在の客觀的實勢と之を以つてしは、そのインフレーション化を防止し得る情勢に在ろ。（完）

山家の春

市川健次

江戸前

當店に於て自慢の
大蒲燒
割烹開業以來
壽司

特に「都壽司」は江戸一流の職人を迎へて食通の皆樣方に御賞讃を頂きお蔭樣にて大繁昌をいたして居ります。

都壽司は魚榮と御思召して……

御ひろき下さる樣御願申上げます。

田町　魚榮　電話四二四番

貸切ノ御用命ハ

イツテモ眞先ニ（松崎ニ）

三九ニタクシーへ

（デンワ、ミクニ）

市原醫院

內科。小兒科
外科一般。婦人科
外科。梅毒。淋疾
皮膚病　市原卯太郎
　　市原陸郎
平町田町本通　市原三三男

（入院隨意）　電話一一四番

泌尿器科醫院

（平町南町電一〇七番）

吉田眼科病院

紅と紅茶代用品

出現

何處の御家庭でも熱湯さいあれば卽席に出來ます尙一分間炊けば一階風味良く出來ます。在來の晒あんとは全々違ひ日向臭く有りません。小豆天賦の風味芳香と榮養分完全に保有されてあります。年末年始の贈答品には好適當です。

一袋正量三七五瓦入（約半人分）金三十錢

贈答品函入　金一圓

製造發賣元　日進堂

（特約販賣店募集）　平町田町　電一八六

耳、鼻、咽喉科、氣管支、肺病科專門

平町南町　（電一〇七番）

大和田醫院

大和田都司

（自炊の便あり）

日

設新機

十

檢查

體溫計の檢查日です

お宅の體溫計は？

正確な體溫計を御利用下さい……

每月十日の檢查日を御利用下さい

度量計計量器指定販賣所

西村屋藥局

電三番

屋根材の大王（日の出太陽印）便利瓦

耐久力優ニ二十ヶ年以上

壹坪貳上　八十錢內外

日本建築紙工株式會社

磐城代理店

銘ニヤ板
天井板
屋根板
內外木材

織田材木商店

平町字紺屋町四〇
電話四六〇番

精實勉强御用命を願ひ上ます。

共濟病院案內

磐城　院長　醫學博士　石山謙郎　（自宅）電話一二四番

內科（醫學博士　石山謙郎）
小兒科（醫局員　佐久間粹）
外科耳鼻咽喉科（醫學博士　桂重次）
皮膚科（醫學士　有馬勇二郎）
產婦人科（醫學士五十嵐雄二）
X光線科（醫局員　佐久間粹）
技師（醫學博士　石山謙郎）
工藤慶造
衛生試驗所（醫學博士　石山謙郎）
技師　高後利雄
藥局（藥劑士　吉本孝平）

△診療時刻　午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず

平町　磐城共濟會　電話六四一番

耳鼻咽喉科專門

平町田町七〇番地

山內醫院

入院隨意
病室完備

醫學士　山內亨吉

電話六九一番

內外
建築材
建具材

入阿部材木店

磐城國平町（公園下）
電話四九四番

爪なき女

ヴィニア・デルマー作

堤光泰譯

(4)

『ふつさと行つてお仕舞ひ！』

二人の姉妹は符を合せて叫んだ。

斯ういふ譯で、何うしたものか、彼女は今迄に兩人が見た中では一番愛くるしい顏をしてゐたし、お給金の裝を着せても晴衣の樣に見せる丈、姿體を持つて居つたのだが、マネキンには何うしても成らなかつた。

實際、傭主とのこの會見の後、一週間目には彼女にしては皆目、解せない理由が見た中では一番愛くるしい顏をしてゐたし、お給金の下に臧にさせられて仕舞つた。彼女はヒヨイと肩を竦めて店舖を出て行つた。

絶に勤め口が有つたのだつた。

事實、それからの四年間といふものは追ひ詰めた暴ふことを習つた。慇懃にそそして逃げて行つて仕舞ふことを知つた。このことは女は眼を大きく見開いて見守つてゐた。彼女は聲を落莊的で派手であることは精はせた。この世界で、もしも充分しつかりさへして居張り上げてゐる術を覺えたるといふことを知つた。美つたら、何者にだつて傷村所を急に起きた爲めに足許德利にかぶりついて曲飮をのみ具體的の最氣動向を親測しなさ』

『爾うなつたら起きるがいゝ』

『起きられるくらゐなら眞來て見ろ』

と耳打すると飛出したく

女に魅せられ、微妙な感受つて〳〵遊冷してゐた木內性と眞劍な眼差しとを持つた男は一度、彼女に會つて今度は二人で出掛けた。

と俄然と跳起きた。

『や、有難いッ』

句の色々の職があつた。彼して地味にしてゐることは『どれ〳〵、どんな奴か』

木內は覆戶の隙から覗かと云ふ。

『何、銘酊をいたして居るとな』

『へえ、正に五合半ばかりやらかしまして御座りますしますと惡い癖が出て……その癖も人並の癖とは違ひ突然鋭い一喝、が破と身ましたなんで、へえ』

『どんな癖ぢや』

『あのやうな慘いことを白刃、覆戶を破つてきらりと鼻先に寒る』

『あツ！』

木內は叫んで悵然と椽先で腰を拔かした

『こりやハヤ、と、と、飛がらりと覆戶を開けて龍馬は白刃を提げたなりに咎め立てた

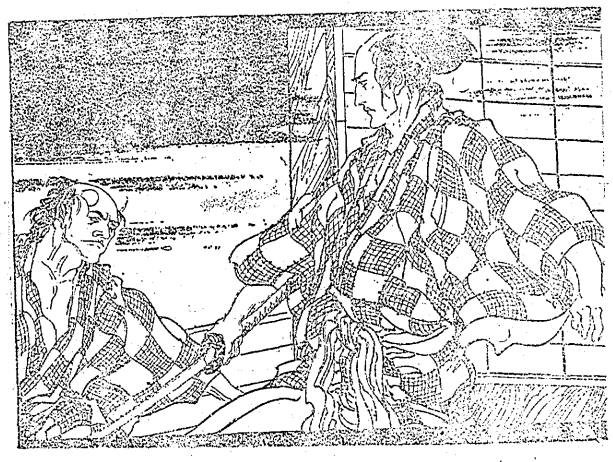
『へえ、誠に甚麼も申譯が立ちません』

太郎はびく〳〵と怯えるやうに體を顫はせて

『實ア其處にゐる連の男がそ、その、さ、酒を食ひ醉ひまして、と、飛んでもない無調法……どうぞお武家さま命だけはお預けくださいまするやう……コレ鹿島屋さん、何でお詫をしないのだい、がた〳〵してたつて仕樣がないぢやないか』

四這になつて逃げようとしてゐる木內を顧みた

『へえ、正に五合半ばかりやらかしまして御座りますしますと惡い癖が出て……その癖も人並の癖とは違ひ



社會の今日

○

とり入るる竿の乾物春

いつか、長き日ざしとなりにけるかな

四賀　光子

お前には少しは春の夢もあるか、籠のカナリヤちびちびと鳴く

鳴海　要吉

講談

お蘭花お嬢

(254)

渡邊默禪作

布施長春畫

太郎は笑つた

『いや未だ床揚は早い』

『ぢやと申して、此の分で明日まで寢てゐようものなら眞個の病人になりますがな』

『爾うなつたら起きるがいゝ』

『起きられるくらゐなら眞來て見ろ』

と耳打すると飛出したく

女に魅せられ、微妙な感受つて〳〵遊冷してゐた木內性と眞劍な眼差しとを持つた男は一度、彼女に會つて今度は二人で出掛けた。

と俄然と跳起きた。

『や、有難いッ』

句の色々の職があつた。彼して地味にしてゐることは『どれ〳〵、どんな奴か』

木內は覆戶の隙から覗かと云ふ。

『何、銘酊をいたして居るとな』

『へえ、正に五合半ばかりやらかしまして御座りますしますと惡い癖が出て……その癖も人並の癖とは違ひ

第四校實現を期す！

昨夜區民大會で決議

區長十名を實行委員に擧ぐ

南町、材木町主催の第四小町目の各區長十名を實行委一氏宅を訪るので平商で學校建設區民大會は昨十六日午後七時から聚樂館に開催したが參會者約三百名町當局會長小松茂氏の開會に次ぎ

實行委員となつた

決議

吾々町民は町當局の聲明せる第三小學校增築案なるものは町財政上より見るも就學兒童收容の實際より考究するも只一時を糊塗する補縫策に過ぎざるを以て絶對之に反對し昭和三年町會に於ける議決を尊重し現在の事實に卽し昭和八年度に於て第四小學校新築實現を期す

南町青年會幹事坂本清利、同岡田健吉、同町五組長鈴木留五郎、同六組長只野息藏ノ町議吉田五平氏の意見發表あつて南町區長齋藤寅吉氏を議長に推し左の決議をなして南町、材木町、紺屋町、長橋町、鎭治町、田町、一、二、三、四

豫算內示會で諮る

決定しなかつた昨委員會

來新學期後の對策に關する決定を見ず十九日午後一時平町學務委員會は昨十六日から開かれる豫算內示會に午後二時から町會議事堂に提案して全町議の意見を求開催したが第三校增築第四めるに決し四時散會した校新設の兩論に分れ何れ共

著助拂下げ內定

懸案街角が圓くなる

廿五日の町會で正式決議

旣報新舞踏場敷地二百七十坪及沼町長は井上、野崎兩縣議署長會合跡百坪計三百七十と共に十三日出縣最後的交涉坪の處分に就ては地元紺屋渉を遂げた結果五ヶ年据置町內當局と協議の末角地六で縣も漸く納得するに至つ十坪を國道に編入して殘除たので來る二十五日の町會の表決を一坪二十五圓宜に諮る事となつたが土木監會は十六圓で拂下らるる督所でも決定次第直に道路縣に陳情中であつたが背の改修に着手すると

風水害復舊補助申請

濱三郡で增額運動決定

濱三郡選出縣會議員、町村長に決定した長、郡農會長發起の風水害救濟增額運動に關する協議會は一昨十五日中村時に於て開催本郡からは井上縣議、青沼支會長出席しが協議の結果漁村に對しては船舶漁具の復舊費增額綿助を其他に就ては道路、橋梁、護岸の復舊に要する借入低利資金の增額を內務大臣、農林の各關係主務省に申請する事となり更に來二十一日縣農會に集合縣及二十九聯隊藤井大佐は明十中央當局に向つて陳情する八日實兒平商級道講師藤井

故翁を偲ぶ

淺野館竣功

四月十四日落成式

磐城炭鑛の淺野會館落成祝賀式は四月十四日擧行されるが同鑛競技部では當日高坂グラウンド、平町長橋間の紀念マラソンヲ行ふべく協議中である

藤井大佐來平

若松歩兵第六聯隊長藤井大佐は明十八日午前八時平着の汽車で來平し同日午後一時から平町會議事堂で將校團會同を開き午後三時から平町會議事堂で將校團會同を開き午後三時から平町會議事堂で將校團會同を開き午後三